

stories

広報かわねほんちょう

ま
つ
り
の
よ
る
に。
。

フォトグラフ夏祭り・2-11ページまで

小長井地区では8月7日、3年に一度の徳谷神社大祭が開かれました。祭典は午前
の部、午後の部、夜の部の3部で構成され、
神社での舞の奉納や商店街での神輿練り歩
き、広場での輪踊り・花火大会など、多彩
な催しでにぎわいました。写真は夜の部、
輪踊りに参加していた女の子。ステージ上
で太鼓の音に合わせ、楽しそうに踊りを披
露しました。

2010

9

No.59

先祖を迎え、農作業の労をねぎらう

健康を喜び合い、地域の活性化を願う

いつの時代も人々を魅了してやまない夏祭り

今年も各地で、にぎやかな宴が繰り広げられた

なぜ人は、こんなにも祭りに引きつけられるのだろうか

夏祭り

夏に開く祭りの総称「夏祭り」

多くの場合、7月上旬から8月下旬ごろに開かれる祭りのことを夏祭りという。

日本の夏祭りは、盂蘭盆（お盆のこと）・七夕・祇園祭などが関係する行事を起源とすることが多い。農村社会では、豊作に感謝し、夏季の農作業の労をねぎらう行事。一方、都市社会では江戸時代以前の疫病封じやその死者を弔う行事を起源とする傾向が強いようだ。

ただし現代では、その起源的なものは風化し、目的や内容も変わりつつある。現代の夏祭りは厳粛に執り行われる神事というよりは、華やかに催される祭典としての意味合いが強い。夏

の風物詩として、地域ごとに特色ある祭りが定着している。

盆踊りは本来「**霊鎮めの行事**」

夏祭りに欠かせない「盆踊り」。本来盆踊りは、お盆にかえってきた祖先の霊をしずめる**霊鎮め**の行事である。念仏踊り（自分で念仏を唱えながら踊る）から踊り念仏（念仏を唱える人と踊る人が別）に発展した民族芸能が盆と結びつき、精霊を迎え、そして送り出す行事へと変ぼうを遂げてきた。15日の晩に盆踊りをし、16日に精霊送りをするのもそのためである。

一方、盆踊りには娯楽的な一面もある。住民の結びつきを深め、帰省した人々との再会を喜び合う。また、男女の出会いの場でもあった。盆踊りの歌詞に色恋ものが多いのはそのためだ。人々は年に一度、さまざまな思いを夏の夜に託した。



盆踊り…広場の中央にやぐらを立て、その周囲を回りながら音頭に合わせて踊るのが一般的。念仏踊りが起源といわれている。



3年に一度の徳谷神社の大祭（小長井）。子どもたちが、夜空に風船を放ち、夜の部は幕を開けた。にぎやかな宴の始まりだ。



8

1_徳谷神社で女子児童が稚児の舞を奉納した 2_神輿の準備が完了し、祭りの安全を祈願 3_出番を待つ小さな男の子。舞台上の太鼓の動作をまねる 4_商店街では神輿に続いて女性陣の踊り 5_笛の音が神輿練り歩きに花を添える 6_住民総出の輪踊りで祭りのムードは最高潮に 7_商店街を練り歩く勇ましい男神輿 8_夜空を彩る大輪の花。千頭駅前河原から撮影 9_沿道で神輿に応援を送る女性陣 10_神輿を見守る女性にも笑顔 11_激しいパチさばきを見せる赤石太鼓 12_夏祭りに大人も子どもも男も女も関係ない。その一体感こそが祭りの醍醐味



5



3



6



4



11



10



みんなの表情が生き生きしている
威勢の良いかけ声やお囃子、迫力の太
あでやかな踊りと勇壮な神輿が、眼前

鼓の音が聞こえる
を通り過ぎていく

小長井地区・8月7日

徳谷神社大祭

3年に一度、地域住民総出でにぎわう

稚児の舞おそかに奉納
徳谷神社（小長井）では
8月7日、3年に一度の大
祭が開かれた。
神社祭殿では午前9時半、
巫女姿をした女子児童が
「稚児の舞」を奉納した。
小学校低学年は順の舞、高
学年は八幡の舞。この日の
ために練習を重ねた子たち

は、息の合った優雅な舞を
披露した。
境内では、男衆が神輿の
準備を始めた。見る間に、
台座に縄で固定されていく
神輿。どんな激しい動きに
も耐えられそうだ。完成後
は祭りの安全を祈願。神輿
はトラックに乗せられた。
神輿と踊りが練り歩き

午後1時。小長井地区の
メインストリートでは、神
輿や踊りの練り歩きが始ま
る。かけ声と共に進む隊列
あとから男神輿も合流し、
祭りは激しさを増す。
「えっさ、えっさ」「わっしょ
い、わっしょい」。
商店街に大きな声が響き
渡り、住民が沿道で手を振
る。子どもたちが神輿を追
いかける。おばあちゃんた
ちも楽しそう。祭りを通し
て、地域全体が一つになっ

輪踊りや花火で最高潮に
夜はつつみ遊園地（川根
大橋もと）で輪踊りや花
火大会が開かれた。飛び入
り参加大歓迎の輪踊りは、
この日最大の催し。盛り上
がりは最高潮に達した。
3年に一度の大祭。関係
者の顔も来場者の顔も、こ
の日を迎えられた喜びにあ
ふれていた。

地域の結束力を再認識

3年に一度の大祭ということで、
みんな力が入っていました。重機
を用意する人もいれば、慣れない
音響機器に汗を流す人も。輪踊り
の女性陣は、5月から練習をして
いたんです。みんなそれぞれの役
割の中で、役割以上のことをやる
うと頑張っていました。

普段は顔を合わせることがない
人とも「祭り」は引き合わせてく
れます。あらためて地域の結束力
を確かめられた祭りでした。



夜の部・司会を務めた
小長谷常夫さん
(小長井)



7



5



2

4



写真上から、あでやかな舞いのヒーヤイ、地区の大人が演じる狂言、神社に集まり出す来場者、鹿ん舞を見つめる親子、道行きから浅間神社に到着した鹿ん舞



徳山の盆踊は鹿ん舞、ヒーヤイ、狂言の3部構成。その昔、畑の作物を荒らす鹿などを追い払い、豊作を祈ったのが起源とされるが、いつのころからか、舞台上踊るヒーヤイなどを警護する役割へと変化してきているようだ。

徳山の盆踊

徳山地区・8月15日

国指定重要無形民俗文化財の伝統息づく

古来から受け継がれる舞

昭和62年12月28日、国指定重要無形民俗文化財に指定された徳山の盆踊。町内外に多くのファンを持つ伝統の行事である。祭典の仕切りは、持ち回りで当番組が受け持つほか、区交通部、文化部、寿会なども祭りの一端を担っている。祭典当日の8月15日。会場にいた役員に話を聞くと

「雨もなく、祭典を無事迎えられるホッとしています。お昼過ぎには、既に来場者が幾人も来ていて『何時から始まりますか』と尋ねられました。ファンが大勢いることを実感しますね」と話していた。

夕方、浅間神社に到着した鹿ん舞一行は、来場者に大きな拍手で迎えられた。午後6時40分。いよいよヒーヤイが始まる。「待つていました」と言わんばかりに、無数のカメラが舞台上へと向けられた。

ヒーヤイが舞台を降りると鹿ん舞が順番を迎える。

「そーりやあ、うん、はい」のかけ声と共に、舞台周囲を勢いよく駆け回ると、拍手と歓声が境内に響いた。

さらにヒーヤイ、狂言と舞台は続く。来場者は、かたときも目が離せない様子で舞台を見つめていた。



1 夕方6時半の千頭駅前。盆踊りを楽しみにしていた人たちが続々と集まり出した 2 犬を連れて参加する人の姿もあった 3 中原康夫さんがたたく太鼓の音が祭りのムードを高める 4、5 露店ブースでは、急ピッチで祭りの準備が進められていた 6 金魚すくいも大人気。大人も子ども一緒になって祭りの夜を満喫した

プチ盆踊り

千頭駅前のお母さんたちの思いが形に

盆踊りにぎわいづくり

8月14日の夜、大井川鐵道千頭駅前で開催されるプチ盆踊り。近所のお母さんたちが発案・主導し、地域の人たちを巻き込んで開かれる小さな盆踊り大会だ。

「お盆なんだから、浴衣姿で盆踊りを楽しみたい。帰省した人を連れて行ける場所をつくりたかった」という中原緑さん。自身も浴衣に身を包み、マイクを持って奮闘していた。

午後6時半、太鼓の音が千頭駅前に鳴り響いた。その音に引き寄せられるかのように、続々と人が集まり出す。それぞれ盆踊りを踊ったり、エレクトーンに耳を傾けたり、たこ焼きや飲み物を買ったりと、思い思いに夏の夜を満喫した。こじんまりと、でも着実に「盆踊りの輪」が広がりつつある。



輪が広がりつつある

昨年に比べ、倍近い人が来てくれたように思います。みんなが楽しそうな顔をしていたので、わたしもうれしくなりました。地区の生涯学習委員会や男性陣、中高生が頑張ってくれ、本当に助かりました。

この祭りが「駅前の盆踊り」として、徐々に浸透していることを実感しています。子どもたちに



中原緑さん（千頭）

は、こういった素朴な祭りを感じる「懐かしいにおい・田舎のにおい」みたいなものを伝えたいし、いつまでも忘れないでいて欲しいと思っています。





1_天空を赤く染める炎の柱。来場者にどよめきが走る 2_最前列で手筒を見た子どもたちは迫力に驚くばかり 3_ステージを見つめる親子。こんな笑顔が至る所で見られた 4_川高郷土芸能部の楽しそうな赤石太鼓。祭りのオープニングを飾った 5_金魚すくいに挑戦する浴衣姿が愛らしい子 6_会場で見かけた男の子。「赤い金魚が好きなの」と祭りを満喫している様子



4年目を迎えた 有志の 夏祭り

やっちやう祭2010密着ドキュメント

台風4号が過ぎ去った8月13日

夜の高郷河川敷は

人々の熱気に包まれていた

有志がつくり上げた4回目の「やっちやう祭」

祭りにかけるスタッフの情熱は、

手筒花火の迫力にだって負けない

暑い熱い一夜限りの物語

心動かされる瞬間をカメラが追った

やっちやう祭の起こり

2年前の夏のある日。夏祭りに情熱を傾ける一人の男性を取材した。名は前田孝一。今年も8月13日、やっちやう祭実行委員長として、高郷河川敷を駆け回っていたその人だ。

「夏祭りをやりたいと具体的に思ったのは、清涼祭(青年団主催)がなくなったのがきっかけ。青年団自体がなくなってしまう、祭りも途絶えてしまったんです。お盆で帰省している人を連れて行くところがないのはさみしい。ならば自分たちでやってみようと、実行委

員会を立ち上げました。第1回の夏祭りは藤田鉄工所(現エムエーフジタ)さんに会場を貸していただきました。当時はバンド演奏がメイン。どちらかといえば文化祭に近い雰囲気だったと思います。バザーも家庭用のフライパンを持ち出して使っていました。こじんまりとした祭りでしたね」

この夏祭りも今年で4年目。2年目からは会場を高郷河川敷広場に変更。祭りの目玉として、赤石太鼓保存会と奥大井煙火保存会が加わった。スタッフや出店数も年々増え、イベントの充実化が進んでいる。

激しい炎が天空を焦がす

13日午後6時半。赤石太鼓の演奏が祭りの開始を告げる。徐々に人が集まり出す。浴衣姿の女の子もお母さんに手を引かれてきた。空が暗くなるころには、会場は人でいっぱいになった。舞台では、ダンスチームの軽快なパフォーマンスが、祭りのムードを盛り上げる。会場内ではオリジナル盆踊りが繰り広げられた。エレクトーンを中心に輪になって踊る人々。高らかな歌声と笑い声が響いた。

午後8時半過ぎ。太鼓の音が会場内に轟くと、祭りはフィナーレを迎える。最後の目玉、赤石太鼓と手筒花火のコラボレーションが始まった。激しい炎が天空を焦がす。男たちの体を火花が包み込む。どよめきと歓声が交差する観客席。その迫力に、その余韻に、いつまでも酔いしれていた。

この夏の日を忘れないー



夏祭りといえば欠かせない盆踊り。やっちやう祭オリジナルの盆踊りを楽しむ

取材撮影協力：岩下聡(吉田町)、志村美幸(富士市)

おれたちは祭りで町を盛り上げたんだ

手筒花火の迫力を多くの人に伝えたい

旧本川根町の閉町記念行事の際、現在のメンバー数人が手筒花火を初めて体験したんです。その慰労会の席で「自分たちでもやってみたいか」という話が持ち上がりました。その後、静岡市郷島の手筒花火保存会の人たちと知り合いになり、技術や製法などを教わり始めました。

歓声が大きいほど僕らも気合いが入る

手筒花火は必ず自分たちが作ります。作業は個人の責任。一歩間違えば大きなケガをする危険性もありますから製作は気を遣います。もちろん打ち上げ時も気は抜けません。大筒は火薬を詰めて約20キロにもなる。一瞬でも気を抜いたらダメなんです。だからこそ張り合いがあるし面白さもあります。手筒は途中で炎が変化するんですが、そのとき観客から大きな歓声上がるんです。この歓声が大きいほど、僕らも気合いが入るんですね。もっと保存会の活動の場を広げていきたい。小さな祭りなどにも呼んでもらえたらと思います。みんなと町おこしのつもりで始めた手筒です。みんなにその迫力や醍醐味を伝えたいし、やりたいと思う人はぜひ手を挙げて欲しい。そうやって輪が広がっていき、祭りにも町にも活気が生まれれば、こんなにうれしいことはありません。



奥大井煙火保存会
岩崎敏行さん(桑野山)

自分たちが楽しむ気持ちは人に伝染する

太鼓の面白さや楽しさにはまった
わたしが太鼓にかかわったきっかけは、赤石太鼓保存会の発足前にさかのぼります。当時の青年団主催の夏祭りでは太鼓を叩いたんです。人手が足りなくて、やむなく抜擢されたんですが、その経験が大きかった。楽しかったんですね、太鼓が。それから、あちこちの祭りに出向いては太鼓をたたきました。やがて町が「赤石太鼓」を発足させると聞き、自ら志願して保存会に入りました。
赤石太鼓は昭和57年4月、保存会として正式に発足。全国の太鼓保存会を視察し、イメージを固めました。小口大八さんという和太鼓の第一人者と出会い、師事することで、赤石太鼓は今の形に成長しました。
保存会の活動は学生に支えられている部分が大きいですね。小学生から大学生まで、彼らの頑張りにくして赤石太鼓は成り立ちません。
わたしたちは、何より「自分たちが楽しい」から太鼓を演奏しています。そんな気持ちは人に伝染するもの。だからこそ、出演者も来場者も一体となって盛り上がることができるんです。太鼓や祭りを通して、より多くの人を巻き込んで「楽しむ」気持ちを根付かせたいと思っています。



赤石太鼓保存会
中原康夫さん(千頭)

「5年間は続けてみよう」を合い言葉に

お盆に帰省した人が楽しめる場所を
以前、青年団が主催していた「清涼祭」。夏の風物詩でした。やがて青年団がなくなり、その夏祭りも途絶えました。「このままではいけない」と思い、有志で実行委員会を立ち上げました。
メンバーの間では「5年間は続けよう」と申し合っています。継続は大変ですが、来てくれた人が「今年も良いっけよ」なんて言ってくれると、また頑張ろうかと思ってしまうんですね。
祭りには、中高生もスタッフとして参加してくれています。するとその友達が遊びに来てくれる。会場で若い子をたくさん見かけるのは、そういった気軽な雰囲気根付いてきているからではないでしょうか。
伝統がある祭りではありません。一言「やめよう」と言えばなくなってしまうのも事実。その一方で、地域を限定せず幅広くやっていけるという面もある。周知方法など課題はありますが、もつといろいろな人に楽しんで欲しいし、一緒につくっていくことができたらと思っています。
「祭りがあるから帰省したい」と言ってもらえるような、子どもたちの思い出に残るような、そんな祭りに育てていけたらと思っています。



やちちやう祭実行委員会
前田孝一さん(高郷)

男衆が力を合わせて神輿をトラックに乗せている。祭りの舞台裏にはこういった地味な作業に汗を流す人たちが大勢いる。その積み重ねが、祭りを華やかに彩る。



祭りを通して
はぐくまれる
人々の一体感
「喜びの共有」

「祭りには不思議な力があるんです」。夏祭りに参加したある女性は、そんなことを話し始めた。「わたしは子どものころ、太鼓をたたいていました。祭りの当日、法被を着るだけで気持ちが高ぶってきたのを覚えています。ワクワクしちゃうんですね。みんなが笑っていると、なぜだか自分までうれしくなってしまう。そんな祭りの雰囲気大好きなんです」。その女性は、今年もスタッフの一員として、子どもたちに笑顔振りまっていた。
その昔、豊作・豊漁を神に祈り、感謝の気持ちをささげた「祭り」。時代が変わり、その目的が変わっても、人々が集うことには変わりはない。祭りには、華やかな表舞台がある。その一方で、祭りを支える地味な裏側もある。バザーの支度に奔走する女性。司会進行の確認をする役員。神輿作りに汗を流す若者。娘に着付けをするお母さん。丁寧にスタッフの弁当を準備するおばあちゃん。真剣な表情で踊りのおさらいをする子どもたち、それを見守る大人たち……。
祭典当日のたった1日のために、人々は何カ月も前から知恵を出し合い、汗をかき、準備を重ねる。一つの祭りをみんなで一緒に創り上げる。地域が一つになっていく。ときには地域の垣根をも飛び越える。活気と熱気と元氣、そして、喜びを分かち合うために。
そんな「喜びの共有」こそが、現代における「祭り」の本質なのではないだろうか。今回の取材を通して、そんなことを強く思った。
夏祭りが一段落すると、もうすぐ、秋祭りの笛の音が聞こえ始める。

終



中学生海外英語研修（ホームステイ）の壮行会を開催。

中学生カナダへ旅立ち 未知の体験で世界を広げる

本町の中学2・3年生が参加して実施される本年度の海外英語研修。

昨年度インフルエンザの影響で渡航できなかった生徒も一緒に参加します。

子どもたちはカナダで、何を学び取ってくるのでしょうか。

生涯学習課 ☎ (58) 7080

旅立ちを見送り

本町の中学2年生が海外へ渡航

し、ホームステイを体験する中学生海外英語研修。その壮行会が7月20日、山村開発センターで開かれ、保護者や関係者らが旅立ち前の生徒たちにエールを送りました。

本研修は、次代を担う子どもたちが異なる文化や生活様式に触れ、現地の人々と交流することで、国際性をはぐくんでほしいと平成9年度から始められた事業。今年で12回目を迎えます。昨年度、新型インフルエンザの影響で渡航を断念した15人の生徒も今回のメンバーに加わり、総勢33人が研修に参加しました。

研修先はカナダ・ブリティッシュコロンビア州・バンクーバー。カナダとアメリカの国境沿いの自然豊かな海が美しい町です。子どもたちは現地の人々と環境に触れ、さまざまなことを学びます。

充実した研修に

壮行会では佐藤公敏町長が「研

修では初めてのことが多く、期待と不安でいっぱいだと思う。現地の人たちと上手にコミュニケーションをとってほしい。将来につながるような研修になることを期待しています。元気に行ってください」と激励の言葉を送りました。

それを受けた子どもたちから「現地の人たちと積極的に話をしてきたい。特に日本や川根本町のことについて話したい」「食文化や生活習慣の違いを見て体験して、お互いの良いところを見つけないか」「研修に参加できることに感謝し、充実した研修になるよう頑張りたい」などの抱負が述べられました。

子どもたちは初めての土地で、言葉も通じない人々と10日間を共にします。どんなことを学び、どんな世界を広げて帰ってくるのでしょうか。



大規模災害に屈しないための大きな一歩。

地震への備えは万全に TOUKAI—0を推進中です

本町では静岡県と一体となって「TOUKAI—0」総合支援事業を推進しています。

昨年8月11日に発生した地震の教訓を生かし、

今一度、東海地震に備えた「わが家の耐震対策」を検討してみませんか。

建設課 ☎ (56) 2227

1耐震診断

診断は無料で受けられます。

本町では、昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅に無料耐震診断を実施しています。申し込みは電話1本で可能です。



2工法検討

診断結果により、補強工事をするか建て替えるかなど、耐震対策の工法を検討をします。総合評点が1.0未満の場合は耐震補強工事をお勧めします。



3補強計画

まず、耐震補強工事を施工するための「補強計画」を作成します。補強計画も専門家（建築士）が作成します。作成費は有料です。

補強計画の作成費用は、立地条件や図面の有無により変わりますが、15万円前後です。この段階で、概算の工事費が算出されます。

補強計画作成費用に対して、3分の2（最高9万6千円）の補助金が交付されます。



4補強工事

計画に基づき、耐震補強工事を施工します。この工事費用に対しても補助金があります。一般の世帯は最高30万円、高齢者だけの世帯または身体障害者の人が同居している世帯は最高50万円、耐震補強工事に大井川産材を使用した場合は最高50万円が交付されます。※昨年度も、町内で3件の耐震補強工事がなされました。



5減税措置

固定資産税が一定期間減額されます。最高3年間、固定資産税が2分の1に減額されます。所得税の控除もできます。確定申告時に、耐震補強工事と補強計画費の10%（最高20万円）が税額から控除されます（ただし、自己が居住している持家に限ります）。



昨年8月の地震で倒壊した木造家屋（牧之原市）

その他の補助

ブロック塀などの撤去にも補助があります。撤去工事にかかる費用と、町で算定した基準額のいずれか少ない金額（最高10万円）が補助されます。補助対象は、道路などに面している、高さが80センチ以上のものです。

これらの補助事業には、いくつかの条件があります。不明な点がある場合や詳しい話を聞いてみたいという人は、お気軽に建設課までお問い合わせください。

※町内で住宅を新築する場合にも補助金があります

町内に、定住目的で新築住宅を建築する場合に、町内業者が元請となり、構造材に大井川流域で産出された木材を使用した場合、最高30万円の補助金が交付されます。この補助金には、ほかにも条件がありますので、詳しい内容については建設課までお問い合わせください。

受け取ったら記載事項などの確認を

国民健康保険証はうぐいす色に

国保加入者へ新しい保険証送付

9月中旬以降、国民健康保険加入者の皆さんに新しい保険証（うぐいす色）をお送りします。この新しい保険証は10月1日から使用できます。

新しい保険証が届いたら、記載事項に誤りがないか確認して、大切に保管してください。

現在お手元の保険証（ふじ色）は、平成22年9月30日を過ぎると使用できなくなります。有効期限の切れたふじ色の保険証は9月30日以降、各自責任をもって破棄してください。

新しい保険証を受け取ったら、次の点について確認し、注意してご使用ください。

①記載事項

保険証に記載されている氏名、生年月日、住所などに誤りがないかを必ず確認してください。

②正しく使用

保険証は台紙からはがして使用してください。他人との貸し借りは禁止されています。

③万が一なくしたら

なくしたり、汚してしまったときは、再交付しますので身分証明書、認印をお持ちの上、役場までお越しください。

④内容が変わったら

住所、氏名などに変更があったら、14日以内に生活健康課・総合支所住民生活室へ届出してください。

●新しい保険証の区分、使用（有効）期限など

区 分	使用（有効）期限	備 考
一 般	平成22年10月1日以降に75歳になる人	75歳の誕生日の前日 75歳の誕生日から後期高齢者医療に移行します
	上記以外の人	平成22年10月1日～平成23年9月30日
退職（退）の表示があるもの	平成22年10月2日～平成23年9月30日になる人	65歳の誕生月の月末日※1日生まれは誕生日の前日
	上記以外の人	平成22年10月1日～平成23年9月30日

モラルに欠けた受診は控えて

コンビニ受診という言葉があります。ごく軽い症状であるにもかかわらず、夜間や休日、救急外来をコンビニ感覚で利用することをいいます。また、お酒を飲んで受診する、タクシー代わりに救急車を呼ぶといった「モラルに欠けた受診」が現在とても増えています。

こういった安易な救急外来受診は、一刻を争う重症患者の治療に支障を及ぼしかねません。それとともに医師や看護師などの負担も大きくなるなど、さまざまな問題を引き起こします。



小児救急電話相談 #8000

お子さんが病気になったとき、「救急に連れて行くべきか、翌日まで待った方がいいのか。相談できる相手がない…」と、困ってしまう場合があります。そんなとき頼りになるのが「小児救急電話相談」。子どもを急いで病院に連れていく必要があるかなど相談することができます。全国共通、局番なしの#8000。困ったら、電話してください。

国民健康保険からのお願いです

受診のモラルと医療費の節減を

町税や国民健康保険税について

払いたくても払えないとき相談を

納税は、教育・労働とともに国民の3大義務の一つに数えられています。地方税の滞納を放置することは、税金をきちんと納めている人に対して、著しく公平さを欠くこととなります。

納付困難なときは早めに相談

病気や事業不振、失業などで納付が難しいときは税務課まで相談してください。事情によって、納税期日を延ばすなどの措置が講じられる場合があります。納付を放置しておくと、延滞金が増加されます。それだけではなく、滞納処分を受けることになります。この滞納処分を受けると、所有財産を失うだけでなく、

特に「国民健康保険税」

国民健康保険税を納めずにいると滞納処分の対象になるだけではありません。保険証が、短期保険証（有効期間が短いもの）に代わったり、資格証明書（医療費をいったん全額自己負担する必要がある）に代わってしまうことがあります。

※災害などで損害を受けたとき、病気や失業などで納付が困難なときは、保険税の減免や猶予が受けられる場合がありますので、相談してください。

延滞金について

延滞金は法律により「徴収しなければならないもの」と規定されています。年率は14.6%で計算されます。期限内に納付している人との公平性を保つために延滞金は徴収されます。

テーマ「大自然のもと ころもひとつに2010」

産業文化祭に行こう

産業の振興、文化意識の向上、交流機会の創出のため、今年も産業文化祭を開催します。関連行事を含め、日程と会場をお知らせします。

川根本町産業文化祭 11月7日（日）

時間 午前9時30分～午後2時30分
会場 役場本庁舎周辺（駐車場、山村開発センターなど）
内容 メーン会場特設ステージでの発表会、バザーなど

美術作品展1 11月6日（土）～7日（日）

時間 11月6日（土）午後1時～7時 7日（日）午前9時～午後2時30分
会場 中川根中学校体育館

美術作品展2 11月17日（水）～23日（火）

時間 午前9時～午後5時（開館日のみ）
会場 文化会館

舞台芸術発表会 10月24日（日）

時間 午前9時30分～正午（予定）
会場 文化会館ホール

産業文化祭実行委員会事務局（総務課） ☎ (56) 2220

知ってトクする健康の話

45



今月の執筆者
宮木清美看護師

今月の「知ってトクする健康の話」のテーマは「熱中症について」。
宮木清美看護師がご紹介します。

暑い夏、熱中症のリスクが高まります。熱中症は、体温が上がり、体の機能が低下する状態です。軽症の場合は、涼しい場所に移動させ、冷たい水や氷などで体を冷やします。そして水分と塩分を補給します。スポーツドリンクか冷たい水と梅干しで補給するといわれています。中等症・重症：救急車が到着するまで、涼しい場所で体を積極的に冷やしてください（横向きで安

「現代の夏は昔の夏と違う！」ということを肝に銘じておきましょう。近年、真夏日や熱帯夜の日数が増えています。夜になっても気温が下がらず、朝から気温・湿度がともに高く、熱中症のリスクも高くなっています。体調管理やこまめな水分・塩分補給を心がけてください。家庭での孤立、独り暮らしで近所づきあいがないうなど、気付くのが遅れて重症化してしまう場合もあります。家庭や地域とのつながりを保つことも大切な予防法の一つです。

このページでは、カゼの予防、健康診断、心のケア、食事に関する豆知識など、皆さんが日頃気になっている健康に関するよもやま話を、保健師・栄養士・看護師の皆さんがリレー形式でご紹介しています。

7月下旬から8月にかけて猛烈な暑さに見舞われた今年の夏。連日「熱中症」のニュースがテレビや新聞をにぎわしています。皆さんの体調はいかがでしょう？ まだまだ残暑が残る9月です。覚えておきたい夏の救急法の一つ「熱中症対策」について紹介します。

「熱中症」は3つのレベル

軽度（Ⅰ度）：めまい、立ちくらみ、脚の筋肉がつる、呼吸回数が増える、顔色が悪くなるなど。運動の直後に起こることが多いとされる。

「熱中症」年代別の特徴

最近、熱中症に関する調査が実施

まだまだ残暑厳しい季節です 覚えておきたい「熱中症」のこと

中等症（Ⅱ度）：頭痛、吐き気、嘔吐、だるさなど。いくつかの症状が重なり合って起こる。放置したり誤った判断をしたりすると重傷に移行する危険性がある。
重症（Ⅲ度）：意識障害、過呼吸、けいれん、立てない、ショック症状など。中等症の症状に重なり合って起こる。自己温度調節機能が破たん。多臓器不全となり、死に至る危険性が高い。

「熱中症」その対処法は

どの程度の症状であっても、まずは体を冷やすのが基本。中等症以上の場合は迷わず救急車を呼んでください。熱中症の対処法は、重症度により異なります。

軽症：エアコンの部屋、屋外なら木陰など涼しい場所に移動させ、冷水や氷などで体を冷やします。そして水分と塩分を補給します。スポーツドリンクか冷たい水と梅干しで補給するといわれています。

中等症・重症：救急車が到着するまで、涼しい場所で体を積極的に冷やしてください（横向きで安

され、その結果から、年代別の特徴が明らかになりました。
若い世代：炎天下や暑さの厳しい環境でスポーツをしているときや労働中に発症することが多い。症状は比較的軽いことが多い。
中高年：日常生活（屋内）で発症することが多い。重症化するケースも多い（若い人に比べて、体内の水分量が少なく、脱水のリスクが高くなるため。汗をかく量が減って体温を調節しにくい、のどの渇きを感じにくいなど、水分の摂取が不足しやすいのも原因の一つ）。

「熱中症」その予防法は

熱中症はちよつとした工夫で予防できる病気です。スポーツや屋外レジャーは発症する危険も高いので、特に気を付けましょう。

体調を整える：体の調子が良くないと熱中症を起こしやすいといわれます。日ごろから十分な睡眠をとり、体調を整えておきましょう。

環境を整える：炎天下はできるだけ避けましょう。高温多湿・無風・日差し・35度を超える時間帯には外出を控える方が安全。ただし部屋の中などの屋内でも熱中症になる場合があります。温度や湿度に注意して。

将来の町の姿を思い描く

商工会観光部会で講演会を開催

本町商工会観光部会では7月12日、中部電力(株)大井川電力センター寺本達也所長を講師に招き、観光振興に関する講演会を開きました。テーマは「外部から見た地域振興策」。観光を核としたまちづくりのためには本町の観光資源を活用し、来訪者と住民が交流する必要があること。来訪者の目線に立った気配り、おもてなしが重要であることなどが語られました。

寺本所長は「将来の町に夢を描き、公民一体となって『どうすれば実現できるか』を考え、行動していくことが大切である。中部電力では、社会への貢献活動の一環として大井川未来予想図検討会を社内に設置しています。地域づくりを積極的に提言しながら、地域の人たちと共に汗をかいていきたい」と訴えかけ、受講者は熱心に耳を傾けました。



地域と共に汗をかきたいと語った寺本所長

川根本町まちの話題



「何かいた」。網の中身を確認し合う会員と児童

一枚の「書」に心を込めて

全国橘花書道展で優秀な成績を収め

橘花書道会が主催する第29回全国橘花書道展。1万9千点の応募作品の中から鈴木貴翔さんが3枚つなぎの部（小3）で、中村真唯さんが3枚つなぎの部（小6）で見事入選を果たしました（ともに崎平教室）。また特別賞に同教室の芹澤航貴さん、石原想大さん、鈴木雄大さん、笹木怜菜さん、松原亜柚花さんが入選しました。おめでとうございます。教室で教える中村志津さんは「7人の生徒が今回の作品展で上位の賞に入選でき、大変喜んでます。今後も子どもたちと頑張り、良い成果を出していきたいと思っています」と話していました。



境川の水質や環境を調査

瀬平けっこにせつ会と中川根南部小児童

中川根南部小学校では7月21日、総合的な学習の一環として境川の水質を調べる学習を実施。3・4年生22人が参加しました。昨年に引き続いて2回目となるこの授業。河川の水生生物の生息状況を調べ、水質や環境の実態を把握するのが狙い。昨年は境川ダム下流で、今回は上流側で実施しました。

県環境学習指導員の鈴木正文さん（梅高）を講師として招き、瀬平けっこにせつ会の会員7人が学習に協力しました。けっこにせつ会の会員は、子どものころ、自然の中で遊びまわった経験を持つ地域の大人たち。子どもたちにとって最高の先生です。会員と子どもたちは一緒に川に入り、ウグイやアブラハヤ、沢ガニなどの水生生物を網ですくいました。

調査時間は約1時間。水生生物を分類した結果、境川ダムの上流部は、きれいな水が流れていると判明し、大人も子どもも一緒になって喜び合いました。

すこやか大学の開校式および第1回学習会を開きました
視野を広め、健康で楽しみのある毎日を過ごそう

まちかど博物館の現地視察（大間地区にて）



すこやか大学（おおむね70歳以上が対象）は6月30日、北部の開校式および第1回学習会が開かれたのを皮切りに、7月6日には中部、8日には南部がそれぞれスタートしました。

本年度のすこやか大学は「学習会を通して視野を広め、健康で楽しみある生活を過ごせるようにする」の目標のもと、年4回の学習会を計画しています。

第1回学習会では「まちかど博物館を訪ねて～川根本町の魅力再発見」と題して、町内17館を訪問しました。「まちかど博物館」は大井川流域の新しい観光プロジェクトとして立ち上げた事業。地元住民が自宅や仕事を開放し、来館者との交流を

通して、この地域特有の歴史や文化に親しむ新しい旅の形を提案。交流人口の増加や地域の活性化を目指しています。

参加した学生は、館長の心のこもった談話や温かいもてなしを受け、有意義な学びができた様子。「あらためてわが町の豊富な観光資源を再認識できた」

「町民全体が観光案内人として川根路の歴史、文化、産業を守り育て繁栄させていくべき」と感想を話しました。

学生の皆さんにとって、さらに視野を広め、交流を深めていく機会となるよう学習を進めていきます。学生の皆さんが、この町のリーダーとして活躍されることを期待しています。

- 3日金** 航空自衛隊
 中部航空音楽隊コンサート
 （川根高校体育館・生徒対象）
- 23日木** B & Gクラブ・ヨット体験
 （御前崎マリーナ）

- 今月の町民ギャラリー展示
版画展 8日～（前澤妙子・崎平出身）
 今月の文化会館ロビー展示
水墨画展 （岡村水墨画グループ）

町内小学校5年生51人が参加した県外体験学習（新潟県糸魚川市） 一回り大きくなって帰ってきた子どもたち



上／お世話になった宿泊先「竹春館」の玄関先で記念撮影。みんな楽しかった？ 下／10回目を迎えた糸魚川市立磯部小5年生と町内小学5年生との交流会

小学5年生を対象とした県外体験学習は7月28日から30日までの3日間、新潟県糸魚川市で実施。児童51人が参加しました。一行はまず野尻湖ナウマンゾウ博物館を訪問。4万年前の日本に思いをはせました。糸魚川市立磯部小5年生との交流会では、一緒に海水浴をしたり、砂の造形をしたりして楽しみました。ライスセンター訪問では、大規模な水田や貯蔵倉庫を見学、本場米どころの稲作について学びました。新潟の良さを学ぶことで、あらためて本町の良さに気付いた様子の子どもたち。実りの多い3日間となりました。

自分たちでテントを張ったり、水の中を観察したりしました ふるさと発見団「アウトドアを楽しもう」



小学4、5、6年生対象の「ふるさと発見団」は、8月3、4日に「アウトドアを楽しもう」と題した活動を実施しました。ヤマメのつかみ取りやEポート体験、キャンプ場でのテント設営・宿泊、河内川での水中生物の採取・観察など、盛りだくさんのメニューを夢中になって楽しみました。子どもたちは真夏の太陽の下で元気いっぱい活動し、友情を深めました。

【お世話になった講師の皆さん】
 ヤマメのつかみ取りほか…梶山雅史さん、
 Eポート…金丸陽一郎さん、水中生物観察…鈴木正文さん



「旅人よ」「海その愛」「君といつまでも」
 加山雄三さんのトーク&ライブ

加山雄三さんのトーク&ライブは8月8日、文化会館ホールで開催されました。

午後6時から始まったライブでは、「旅人よ」「海その愛」など名曲の数々を熱唱。曲の合間には軽快なトークで来場者の心を和ませる一幕も。アンコールは誰もがご存じ「君といつまでも」。その高らかな歌声に、会場からは割れんばかりの拍手が送られました。

茶娘ちゃんカード会からポイント交換セールのお知らせ

ポイント交換セール
9月20日金～9月29日水

ポイントカードと裏面の「引換券」を茶娘ちゃんカード会加盟店へお持ちください。
 300ポイントと「引換券」1枚で、
 500円のお買い物ができます。



介護の必要な方やご家族様が、ご自宅で「自分らしく」「安心した生活」が送れるよう「あかいしの郷 ケアマネージャー」がお手伝いします！

介護申請をお考えの方、介護サービスのご利用をお考えの方、
 お気軽にご相談ください。

あかいしの郷 居宅介護支援事業所
 川根本町徳山1620番地の1
 （お問い合わせ）0547-57-1234





！！人も車も初期診断が重要です！！
人間の健康診断は油谷先生
車の異音診断は技術自慢の当社メカニックへ

川根自動車株式会社

川根本町上長尾 869-2 TEL：0547 (56) 0150

林業の仕事をしていた ことがありませんか？

林業退職金共済事業本部

林業退職金共済事業（林退共）では、昭和55年以降林業事業所で働いていた人で、林退共制度に加入していたが退職金をまだ受け取っていないという人を探しています。

また、林業事業所で働いていたが、林退共へ加入していたのか分からない人も、加入歴を調べることができますので、気軽にご相談ください。

心当たりがある人は、林退共本部までお問い合わせください。

林退共制度について、詳しくはホームページでもご案内しています。
<http://www.rintaikyo.taisiyokukin.go.jp>

【問】林業退職金共済事業本部
☎03 (5400) 4334

正しい操作とゆとりを 「秋の農作業安全運動」

静岡県

9月1日から30日まで、県下全域で秋の農作業安全運動が実施されます。

農作業中の事故は依然として多く、平成20年の農作業中の死亡事故は全国で374件にのぼります。前年と比べ、やや減少しているものの、依然、高い水準にあるといえます。

農業機械による事故や畑での転倒、転落による事故も発生しています。

秋は、水稻の収穫作業や野菜栽培に伴う事故が発生しやすい時期です。農作業事故の多くが単純なミスによるもので、注意すれば防ぐことができます。

農業機械を使うときは、自分自身の安全を確保し、身の回りも確認した上で、十分注意しながら作業しましょう。

奥泉の祭典に「静岡浅間木遣」が登場します 9月12日

駿府城築城のため、全国から集められた職人から生まれ、歌い継がれてきた「木遣唄」。保存・継承に努める静岡浅間木遣保存会が奥泉の祭典で木遣り唄を披露します。保存会の海野忠夫会長は本町奥泉の出身。「いつか里帰りして、木遣を地元で披露したかった」と、その意気込みを語りました。

祭典への参加は地区外の人也大歓迎。ぜひ厳粛で粋な木遣り唄を聞きに、奥泉にお越しください。

日時・場所 9月12日 奥泉 集会所～大井神社
午前10時～ 奥泉集会所を天狗行列が出発
午前10時30分～ 大井神社で神事奉納
午前11時～ 保存会員による木遣り唄披露
※日程は目安です。進行員合で、多少変更する場合があります。



犯罪被害や交通事故で 困ったときには相談を

島田警察署

警察では、各種犯罪被害や交通事故、ストーカーやDV被害、少年問題、暴力団に関する相談に応じています。

●総合相談窓口（各種相談）
島田警察署および各交番・駐在所
県警ふれあい相談室 ☎054 (254) 9110（24時間受付）

●少年問題に関する相談
少年サポートセンター ☎0120 (783) 410
月～金の午前8時30分～午後5時30分（祝祭日、年末年始除く）

●暴力団に関する相談
暴力相談専用電話 ☎0120 (548) 930

性犯罪被害に関する相談

性犯罪被害110番 ☎0120 (783) 870
月～金の午前8時30分～午後5時30分（祝祭日、年末年始除く）

●県警ホームページ相談窓口
<http://www.police.pref.shizuoka.jp/>
【問】島田警察署 ☎ (37) 0110

行政書士制度広報月間 無料相談所開設します

県行政書士会島田支部

行政書士は、官公署に提出する書類などの作成や官公署への代行提出をします。行政書士が作成できる契約その他に関する書類を代理人として作成したり、相談に応じるなどの業務もして

川 根 本 町 の 人 口						平成22年8月1日現在	
世 帯 数	3,072	世 帯	(－4)	【47】	出 生	3 人	【0】
総 人 口	8,537	人	(－9)	【77】	死 亡	9 人	【0】
男 性	4,167	人	(－6)	【18】	転 入	13 人	【4】
女 性	4,370	人	(－3)	【59】	転 出	16 人	【1】
※（ ）内は前月比、【 】内は外国人数、右欄は今月中の異動 ※外国人の数を含む							

ファッション窓

村の市にオープン 営業時間 AM10:00～PM3:00

平成22年9月11日 土・12日 日 に交換できます。

11000ポイント引換券

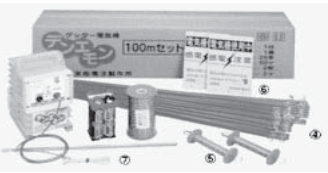
1万円とこの券で11000ポイント販売いたします。千円分お得です。最高2万円まで販売します。この券を切り取ってお持ちください。

オザワマート

☆9月の特販品紹介☆ 獣害対策（電柵など）には1／2の町助成金

イノシシなどから作物を守る！ 家庭菜園用電気柵セット（周囲100m以内）
ネット価格よりも安い¥28,000 末松電子「デンエモン」
周囲100mを超える畑には¥31,500（ファームガード：周囲300mまで）

農機具の購入・修理・改造など、お気軽にご相談ください。地域のお店だからこそ、ていねいに分かりやすく、迅速に対応いたします！



川根本町上長尾795-1
I P 電話 ☎050-3363-2252
☎56-0006 ㊚56-0009

前田機材

います（他の法律で制限されている事項は除きます）。

県行政書士会島田支部では、次のとおり無料相談会を開きます。気軽にご相談ください。

日時 11月3日 木 午前9時～午後3時
場所 夢づくり会館
※10月は行政書士制度強調月間です。島田支部会員各事務所で無料相談を実施しています。併せてご利用ください。

【問】県行政書士会島田支部
支部長 若杉利枝 ☎ (35) 4526

柵にとらわれず自由に ダンスを踊ってみよう

ソーシャルデザイン研究所



コンテンツリーダダンスは、これまでのダンスの柵にとらわれず、体を自由に使って表現するダンス。2泊3日のワークショップを通じて、地域や世代、性別を超えた交流を体験しませんか。

開催日 10月1日 金～3日 日
場所 文化会館（宿泊：寸又峡温泉）
参加費 2,5000円（宿泊・朝夕食込）
資格 ダンス・舞台などの経験は不問
※現地集合。ワークショップのみ参加も可能。参加費に昼食は含まれません。18歳未満の人は保護者の承諾が必要。

【問】ソーシャルデザイン研究所
☎054(253)3867 <http://sd-lab.org>

税関で保管する通貨や 証券を返還しています

財務省清水税関支署焼津出張所

名古屋税関では、終戦後に外地から引き揚げてきた人が税関に預けた通貨や証券などについて、現在返還を進め

ています。今なお引き取り手がなく保管したままのものも多数あります。請求・問い合わせは、本人かご家族でも構いません。心当たりのある人は、気軽にお問い合わせください。

返還中の通貨・証券 上陸地の税関または海運局に預けられた通貨・証券。帰国前に在外公館や日本人自治会などに預けた通貨・証券のうち、その後日本に返還されたもの（旧日本銀行券、旧日本軍軍票など）

【問】清水税関支署焼津出張所
☎054 (628) 3550

絆～新たなスタート～ 駿遠学園祭・雨天決行

駿遠学園

日時 9月18日 土 午前10時～午後3時
場所 駿遠学園 島田市福用112
式典 駿遠太鼓や職能訓練生によるダンスなど 午前10時～

そのほかの内容

- 1 お楽しみアトラクション（沖縄太鼓、ミニ新幹線、大道芸、スタンプラリーほか）
- 2 販売（職能訓練生製作の製品を販売、育成会バザーほか）
- 3 模擬店（やきそば、わたがし、ジュース、やまめつかみ取り・ヨーヨー釣り・射的ほか）

【問】駿遠学園 ☎ (46) 4376

陸海空のエキスパート 自衛官採用試験を実施

自衛隊藤枝地域事務所

1 防衛大学校学生一次試験
推薦 9月25日 土、26日 日
一般 11月6日 土、7日 日

2 防衛医科大学校学生一次試験
10月30日 土、31日 日

3 自衛隊看護学生一次試験

10月23日 土

応募資格 高卒（見込み）で21歳未満（自衛隊看護学生は24歳未満）。年齢は23年4月1日現在。

受付期間 9月6日 月～10月1日 金
（防衛大学校推薦は9月6日 月～9日 木）
※随時、各コースの説明会を実施しています。詳細はお問い合わせください。

【問】自衛隊藤枝地域事務所
☎054 (643) 6391

川根本町自死予防対策プロジェクトチーム

心のコラム すこやかに暮らせる町

警察庁の統計によると、全国の自死者は12年連続して3万人を超えています。交通事故による死亡者が5千人を割ったのと比較すると6倍以上という数字です。昨年の自死の要因を見ると、健康問題47％、経済問題25％、家庭問題12％が上位を占めています。要因は複雑に絡み合っているかもしれませんが、健康問題が突出していることは間違いありません。

本町では健康問題について、これまで検診を中心とした早期発見・早期治療に努めてきました。本年度はさらに一歩進めて「子宮頸がんワクチン接種助成」「肺炎球菌ワクチン接種助成」など、これまで以上に疾病予防に取り組めます。同時に、見守り体制の充実にも努めていきます。

人は自死するとき、うつ状態になることが多いといわれます。悩んでいる人が孤立しないよう、思いやりのある町づくりを進めています。まずは家庭から「おじいちゃん・おばあちゃん・おとうさん・おかあさんを大切に」してください。

生活健康課 西村一
いやしの里診療所 ☎(59) 2102



「引換券」

交換期間 9月20日 月～9月29日 水

コピー不可

茶娘ちゃんカード会



「引換券」

交換期間 9月20日 月～9月29日 水

コピー不可

茶娘ちゃんカード会



1歳になったばかりのお友達を紹介
生まれてくれてありがとう



藤森奈緒ちゃん

父：亮佐・母：智里

H21・8・14生 地名

奈緒、1歳の誕生日おめでとう！好奇心旺盛で、いたずらばかり。毎日の成長に驚かされます。人見知りをしない笑顔で、いろんな人に抱っこしてもらってね！これからも笑顔で元気に成長してってね！



馬場伊咲ちゃん

父：清人・母：衣海

H21・8・18生 藤川

最近、いろいろな事ができるようになってきたね。日々成長する伊咲から幸せをたくさんもらっているよ、ありがとう。これからも、名前の通り、笑顔いっぱいいてね。



横山風音ちゃん

父：慎一郎・母：明日香

H21・8・31生 青部

かのん、お誕生日おめでとう。元気いっぱいのかのん。いつも笑顔をありがとう。優しい風に包まれて、愛にあふれた子に成長してね。

みんなの笑顔が、まちを元気にするよ😊

Birthday

出生・婚姻・おくやみ
戸籍の窓辺

おくやみ申し上げます

地区 氏名 享年 届出人

平栗千頭東	松村重信	84	裕
坂代中本公男	57	慎	
田京大下ナカ	92	薫明	
藤川中村むら	92	國海	
高郷西原はる	97	太田繁	
久保尾松見壽延	86	唯男	
地名 中原惣一郎	76	智	

■戸籍欄に掲載を希望されない場合は、届出時に窓口でお伝えください。

■前々月に届け出された出生・婚姻・死亡の届出のうち、本町に住所があり本町の窓口（本庁・総合支所）で受け付けた分のみ掲載。生活健康課 ☎（56）2222

ご結婚おめでとう

地区 氏名 前住所

小長井芹澤佑亮	小長井
地名 小玉優貴	島田市
地名 山田光隆	掛川市
地名 八木悠	地名
栗原秀幸	地名
松城太加矢	牧之原市
大澤佳子	徳山

お誕生おめでとう

地区 氏名 性別 保護者

桑野山大下珠空	女	亮
地名 山田暁斗	男	友也
徳山西郷海斗	男	純一

family registration

眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。
ご予約は電話にてお願いします。
（当院に初めて受診される方もご利用いただけます）

島田眼科クリニック

住所：島田市日之出町3-9
島田駅から徒歩1分
☎0547-37-0431
診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時
（休診日：水曜、第2・第4日曜日、祝日）

川根高等学校の「今」を紹介する
学校レポートズコラム

インターハイに出場して

美ら島沖縄総体2010に出場

わたしは8月4日から7日にかけて開催された全国高等学校総合体育大会「美ら島沖縄総体2010」のカヌー競技の部に出場しました。会場は、沖縄本島の宜野座村の漢那ダム特設カヌーコース。わたしは、競技種目カナディアンシングルのペア、フォアの500㍔と200㍔に出場しました。

フォアは4人で漕ぐためスピードは出ますが、方向転換が難しく、最初のころは蛇行してばかりでした。厳しい練習の中、乗る位置を変えたり、調整を加えたりすることで、しつかり漕げるようになりました。



初めてのフォア出場はとても不安でした。予選はぎりぎり突破し、準決勝に進出しました。ペアは3年生の風間先輩と共に一番頑張った種目です。3

最終日、残された種目は200㍔のペア。この準決勝にすべてを懸けていました。スタートも池住先生のアドバイス通りにでき、結果は準決勝を1位通過。決勝でも8位入賞し、目標としていた入賞を手にすることができました。

経験のないスポーツでも戦える

わたし自身、経験のないスポーツを

選択し、不安もありました。しかし今回の大会を通して、高校からカヌーを始めても十分に戦えるという手ごたえを感じることができました。

大会に出場するにあたり、多くの皆さんにお世話になりました。南麓祭で募金してくださった人たち、いつも励ましてくれる地域の人たち。本当に応援ありがとうございます。

今、カヌー部員は12人。3年生が抜けると9人になります。カナディアンではフォアを組むことができません。来年川根高校に入学しようと思ってる皆さん、カヌー部と一緒にインターハイに行きましょう。



来年のインターハイでは全種目表彰台を目指すと力強く語る井澤一彰さん

川根高等学校 カヌー部 井澤一彰

column

より良い品を より安く

オザワマート

お酒、たばこの販売を始めました！
11000ポイント交換は平成22年9月11・12日です。
川根本町上長尾 ☎56-1108 FAX56-1109

ファッション



村の市にオープン 営業時間 AM10:00～PM3:00



1 丹念にガードレールを磨き上げる。
たわしを持つ手に力がこもる



2 黙々とガードレールを磨く男子生徒。真剣な表情がうれしい 3 頭にタオルを置き熱中症対策。朝から日差しが照りつける暑い一日 4 田代トンネル内の手すり磨き。そうきんはすぐに黒くなる 5 作業後に実施した「しっぽ取り」というレクリエーション。真剣に楽しく。そこに中学生も高校生も関係なかった 6 試合が終わりチーム交代。「お疲れ」と、互いに声をかけ合った

楽しそうに、そして真剣に。奉仕活動とゲームに夢中になった

根中学校から71人、中川根中学校から141人、川根中学校から151人が参加した。

朝8時30分。各活動場所に分散した生徒たちは、すでに暑い日差しが照りつける中、草取りやガードレール清掃、カーブミラー清掃、ゴミ拾い、集会所内の清掃など、それぞれの持ち場で作業を開始。汗を流した。

大井川鐵道千頭駅前を担当した生徒たちは、道路脇のガードレール清掃に励んだ。ある生徒はたわしや雑巾を手に丹念にこすり洗い。ある生徒はバケツで水をくんでくる。役割分担がしっかりできている。熱中症対策も万全。頭にタオルを巻いて励む姿もあった。丁寧に磨かれたガードレールは、みるみる白さを取り戻していった。

生徒たちは「こすってみたら、すぐに汚れが落ちました。バケツの水はあつという間に汚くなりました。1年間の汚れを落とせたみたいですよ」と話していた。

作業後に実施した交流ゲーム

約1時間の作業を終えた生徒たち。各地のグラウンドやスポーツ広場に移動し「しっぽ取り」とよばれるレクリエーションを楽しんだ。全員の腰には、しっぽに見立てたはちまきがたなびく。それを相手に取られないよう注意しながら、相手陣地にある自軍のボールを奪い合う。1チーム約10人編成。ラグビーに似たスポーツだ。試合になれば中学生も高校生も関係ない。大きな声で名前を呼び合い、点が入れば歓声上がる。そんな和気あいあいとした雰囲気心地よい。中高一貫連携校ならではの特色あふれる活動だった。

はぐくまられる 郷土愛

中高一貫教育連携校合同「郷土愛活動」レポート

暑い日差しが照りつけていた7月28日

川根地区4つの中学校と川根高校が連携し地域の奉仕活動などを展開。現場レポート

中高が連携して地域への奉仕活動

今年で9回目を迎える「郷土愛活動」。生徒一人一人が地域の良さを見つめ直し、地域を愛する心をはぐくむことを目的とした本活動は、中高一貫教育校として連携する川根高校、本川根中学校、中川根中学校、川根中学校の全校生徒を対象とした大規模な奉仕活動だ。各学校間は、普段から授業や課外活動の場で交流を進めており、本活動も課外活動の一つとして毎年取り組まれている。

今年の活動は7月28日、本町内と川根中学校区域で実施され、川根高校から196人、本川

この地域には中高一貫の精神が根付いている

郷土愛活動総括 川根高等学校 浅川典善副校長

より実情に即した活動へと変化

今年で9回目を迎えた郷土愛活動。最初のころは大井川のクリーン作戦として、河川美化などに重点を置き実施していました。しかし活動を続けていく中で、大井川流域は基本的にゴミが少ないということが分かってきました。先生たちからも、同様の意見が挙がっていたため、最近では道路美化や集会所周辺の清掃などへと活動がシフトしてきています。

今回の活動に際しては、事前に各区長さんに「どんなところを作業して欲しいか」を聞き取りしました。その結果、要望が出されたのが集会所などの清掃でした。より地域の実情に即した地域に必要とされる活動になってきた

のではないのでしょうか。

活動に参加した生徒たちは、本当に熱心に作業してくれました。でももしかしら、今は義務感でやっている生徒も多いのかもしれない。言われたから仕方なく。そんな子もいるかと思えます。でも何年か経って振り返ったときに、やって良かったなああって、きつと思ってもらえると思うんですね。

いつも何気なく通り過ぎていた通学路などをきれいにする。わずか1時間程度の作業ですが、地域の環境を見直すきっかけになればと思います。本活動を通して、生徒全員が地域への愛着を深めてくれたらと思っています。

この地域ならではの交流の形

朝の通勤途中、中学生と高校生が自転車ですれ違うシーンに出会いました。その2人はすれ違う瞬間、互いに会釈を交わしたんです。驚きを隠せませんでした。都会の学生では絶対にあり得ない。きつと目も合わないでしょう。この地域に、中高一貫教育の精神が根付いていると実感した出来事でした。

川根高校では、各中学校の体育祭に生徒を派遣し、交流する企画も立っています。川高生と後輩たちの交流がより深まると思います。こういったさまざまな活動を通して、中高連携がさらに進み、地域に根付いた中高一貫教育となっていくよう努めていきます。

大人になってもこの町は変わらないで欲しい

郷土愛活動参加者 川根高等学校 山口優菜さん

中学生との交流も楽しみに

わたしは、徳山区での活動に参加しました。活動前は、中学生とうまく話せるか、リーダーシップがしっかりとれるか心配しましたが、始まってみれば楽しく会話することができ、とても楽しく取り組みました。また、小学校のころ一緒に過ごした後輩たちと久しぶりに会い、身長が伸びていたり、大人っぽくなっていたりして、とても驚きました。

中学生と高校生が混じり合い、各グループに分かれて草取りやゴミ拾いをしました。わたしたちの班は、ときどきの池の草取りをしました。

各班に5、6枚のゴミ袋が渡され、中学生と話をしながら清掃作業をしました。

した。中学生に部活のことや学校生活のこと、どこの高校に行きたいかなどさまざまな話をすることができました。中学生からも質問され、高校生活のことを教えてあげました。普段の高校生活であまり話すことがない下級生ともたくさん話すことができました。

わたしたちの班は、もらったゴミ袋をすべていっぱいにすることができ、とてもうれしく思いました。清掃時間は短く、一時間と限られていましたが、ときどきの池をきれいにすることができて良かったです。

大人になってもこの町で

この活動の狙いは、中・高生が交流しながら、地域の自然や環境の美化に取り組み、古里を愛する豊かな心を育てること。この年一回の活動はお互いの学校の様子を知ることができ、また互いに刺激を与え合うこともできます。本町は今、少子高齢化が進んでいます。少ない子どもたちが、地域のために活動する機会を増やし、地域の良さを知り、大人になってもこの町に住みたいと思えたら素晴らしいことです。

わたしは、川根本町が大好きです。わたしが大人になっても、この町はこの町であり続けてほしい。

いつまでも、みんながそんな気持ちを持って、この郷土愛活動を続けていくことができたらと思っています。

はぐくまれる郷土愛 終

緑のふるさと協力隊員
高瀬美智子の奮闘記③

み・す・し・る・べ



残暑厳しい季節です、皆さん元気にお過ごしですか。松ぼっくりを拾いました。

高瀬美智子 群馬県みどり市出身・緑のふるさと協力隊員第17期生
緑のふるさと協力隊は、特定非営利活動法人地球緑化センターが推進する事業。農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に一年間派遣。隊員として、農業や観光施設などで協力活動をする。美智子さんは、本町4代目の隊員。「おいしいちゃん、おばあちゃんが大好きなんです」と朗らかに笑う21歳。

暑いですね。この夏、わたしはだいぶ日に焼けました。健康的です。暑くても、窓などを全開にしておけるのがいいですね。

お盆の時期には、ご近所のお宅に伺って精霊馬（キュウリの馬、ナスの牛）を見る機会があったんですが、わたしの地元の物とはちよつと形が違いました。土地ごとに文化が違うことを実感です。

徳山の盆踊に参加しました

8月15日の徳山の盆踊に参加しました。伝統芸能に参加するのは初めての経験。すべて新鮮でした。練習は7月下旬から始まったんですが、最初は笛の音がまったく鳴らず苦労しました。他の人とはだいぶ違う音を奏でていたんじゃないかと思えます。それでも8月に入ったころ、ようやくそれらしい音が出るようになり、皆さんについていけるようになりました。笛だけではなく、唄や踊りもや

らせてもらいました。しかし曲や唄を覚えるまでが大変。なかなか覚えられず、録音して聞くこともありました。

本番当日は、皆さんについていくので精一杯だったけれど、楽しく笛を吹くことができました。お祭りに参加すること自体が久しぶりだったので面白かったなあ。

音戯の郷スタッフとして活動

普段は音戯の郷・体験工房のスタッフとして活動していました。来館者に工事を教えるんですが、言葉で説明するのはなかなか難しく、つい手を出したくなってしまふんです。でも、がまんがまん。子どもたちの工作を見ていると色塗りが独創的で面白いなあって思います。

先日、家の庭に畑になりそうなスペースを発見しました。開墾してみようと思っていますので、皆さんぜひアドバイスを！

